

繩文楽検定

第4回 中級 解答

第4回 縄文楽検定 解答集 (中級)

問題	解答	問題	解答	問題	解答
1	d	21	b	41	c
2	c	22	c	42	b
3	a	23	竪穴(住居)	43	d
4	d	24	ベッド状(遺構)	44	b
5	d	25	b	45	(縄文)銀座
6	c	26	c	46	モノ送りの(場)
7	c	27	b	47	a
8	縄文海進	28	c	48	c
9	c	29	c	49	雪国(館)
10	前期	30	a	50	b
11	a	31	a		
12	食料の貯蔵	32	c		
13	b	33	b		
14	d	34	盛土(保存)		
15	c	35	c		
16	b	36	b		
17	c	37	c		
18	c	38	d		
19	b	39	まいぶん(ポート)		
20	b	40	b		

(解説)

中級は、縄文文化全般に関する中程度の知識を問う問題が多かったと思います。3つのテキストから概ね70%以上出題していますが、写真を載せたものなどを中心に少し解説します。

- 1 aは著保内野遺跡(北海道函館市)、bは郷原遺跡(群馬県)、cは西ノ前遺跡(山形県)から出土した土偶です。
- 3 aは平成19年、bは平成7年、cは平成11年、dは平成21年に国宝に指定されています。cの笹山遺跡出土品は新潟県初の国宝です。本年6月で指定13周年を迎えます。
- 7 中学生の問題集からの出題です。正解の人が多くいました。
- 8 「縄文海進」が正式な呼び名ですが、「海進」も正解としました。(参考:テキストI 1頁)
- 9 アンギンは「編み布(きぬ)」ということばがなまったものといわれています。

- 12 トイレ、ごみ穴、お墓である可能性もありますが、最も有力な説である「食料の貯蔵穴」を正解としました。(参考：火焰土器の国 107 頁)
- 14 テキストⅡを良く読んでいた人は正解が多かったようです。(参考：テキストⅡ 23 頁)
- 20 遺跡によって差はあるようですが、全体的には少ない状況です(参考：テキストⅠ 3・11 頁)
- 22 現在の集計による傾向です。今後発見される資料で将来は変わるかも？
- 26 テキストⅡを良く読んでいた人は正解が多かったようです。(参考：テキストⅡ 7 頁) 釈迦堂遺跡は山梨県、中ッ原遺跡は長野県茅野市の遺跡です。
- 32 ちなみに一番小さい火焰型土器は、長岡市石倉遺跡から出土しています。高さ約 15.5cm です。(参考：テキストⅠ 25～26 頁)
- 34 「盛土保存」が一般的な呼び方ですが、「覆土保存」「土中保存」「地中保存」も正解としました。(参考：テキストⅡ 22 頁)
- 35 『新潟県文化財年報』(平成 21 年度版)によれば、12,822 遺跡が登録されています。
- 39 新潟市歴史博物館(みなとびあ)、長岡市馬高縄文館(火焰土器ミュージアム)とともに覚えておくと便利だと思います。(参考：テキストⅡ 4 頁)
- 40 胎土や色調は信濃川流域でつくられた土器とよく似ています。(参考：火焰土器の国 66 頁)
- 41 どのようにして山形県まで運ばれたのか興味はつきません。(参考：火焰土器の国 68 頁)
- 43 小瀬ヶ沢洞窟と室谷洞窟は、阿賀町(旧東蒲原郡上川村)にある遺跡です。長岡市立科学博物館によって昭和 30 年代に発掘調査されました。縄文時代草創期の代表的な資料です。(参考：テキストⅠ 31 頁)
- 45 テキストⅡを良く読んでいた人は正解が多かったようです。(参考：テキストⅡ 23 頁)
- 46 難問とみえて、正解率は低かったようです。(参考：テキストⅡ 9 頁)
- 47 テキストⅡを良く読んでいた人は正解が多かったようです。(参考：テキストⅡ 3 頁)
- 48 テキストⅡを良く読んでいた人は正解が多かったようです。(参考：テキストⅡ 5 頁)
- 49 問題文の中に答えがかかれていたので、気がついた人もいたようです。(参考：テキストⅡ 28 頁)
- 50 テキストⅡを良く読んでいた人は正解が多かったようです。(参考：テキストⅡ 27 頁)

※解説文中の「テキストⅠ」「テキストⅡ」「火焰土器の国」は、下記の文献を示しています。

○縄文楽検定テキスト『縄文文化と火焰土器』(信濃川火焰街道連携協議会、平成 21 年 3 月刊行)

○縄文楽検定テキストⅡ『信濃川火焰街道 縄文の旅』(信濃川火焰街道連携協議会、平成 23 年 12 月刊行)
信濃川火焰街道連携協議会ホームページに PDF 版を掲載 (<http://www.kaen-kaido.com>)。

○新潟県立歴史博物館編『火焰土器の国新潟』(新潟日報事業社、平成 21 年 4 月刊行、定価 1,680 円・税込)。

